

【レジメン名】
ペムブロリズマブ療法

【適応疾患】
非小細胞肺癌 ☒ 進行・再発 ☐ 術前補助 ☐ 術後補助

【インターバル日数】
1 コース 21 日

【使用抗癌剤】

一般名/ 略号	投与法	投与時間	投与日
ペムブロリズマブ/Pembrolizumab 200mg/body	点滴静注	30 分	day1

【注射スケジュール】

薬品名	投与量	目的	手技	点滴時間	d1	d2	...	d21	d1
生理食塩液	50mL	ルート確保	点滴静注	15 分	↓				↓
生理食塩液 テセントリク	100mL 200mg/body	抗癌剤	点滴静注	30 分	↓				↓
生理食塩液	50mL	ルートフラッシュ	点滴静注	15 分	↓				↓

【副作用】

《主な副作用》

● 重大な副作用

間質性肺疾患(3.1%)、大腸炎(1.7%)、重度の下痢(1.3%)、皮膚粘膜眼症候群(0.1%)、類天疱瘡(0.2%)、末梢性ニューロパチー(0.7%)、ギラン・バレー症候群(0.1%)、肝機能障害(8.3%)、肝炎(0.7%)、甲状腺機能低下症(8.0%)、甲状腺機能亢進症(4.0%)、甲状腺炎(0.7%)、下垂体炎(0.4%)、下垂体機能低下症(0.3%)、副腎機能不全(0.4%)、1 型糖尿病(0.3%)、腎不全(0.4%)、尿細管間質性腎炎(0.2%)、膵炎(0.3%)、筋炎(0.2%)、横紋筋融解症(頻度不明)、重症筋無力症(0.1%)、脳炎(0.1%)、髄膜炎(0.1%)、Infusion reaction(1.6%)

● 注意を要する副作用

